

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	上山口中央
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 4 7 1 , 6 3 6 千円	
年 効 用		9 7 , 3 2 8 千円	
廃 用 損 失 額		4 , 2 0 2 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 0 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 8 6 3 , 8 9 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 4 , 4 9 2	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、馬鈴薯、人参
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 0 , 4 2 9	用水施設の改修及び排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、馬鈴薯、人参
	維持管理費節減効果	2 , 2 5 7	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3 1 , 8 0 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	1 , 2 1 3	用水路の暗渠化及びフェンス設置による事故率の減少
	公共施設保全効果	7 , 3 0 8	関連事業により整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
計		9 7 , 3 2 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	若葉西
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 2 0 1 , 4 7 7 千円	
年 効 用		7 5 , 6 9 3 千円	
廃 用 損 失 額		9 , 9 8 1 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 4 4 2 , 8 6 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 7 , 4 4 9	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、ハクサイ、タマねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 1 , 3 5 6	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、ハクサイ、タマねぎ
	維持管理費節減効果	2 8 , 7 6 4	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 8 , 1 2 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		7 5 , 6 9 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	達布中央
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 3 0 0 , 0 2 3 千円	
年 効 用		2 9 1 , 8 4 5 千円	
廃 用 損 失 額		2 0 0 , 1 5 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 2 7 5 , 3 6 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 9 , 9 7 4	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、白菜、玉ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 3 2 , 6 0 8	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、白菜、玉ねぎ
	維持管理費節減効果	2 4 , 3 0 0	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 9 , 8 4 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	1 , 2 7 3	用水路の暗渠化による事故率の減少
	地域用水効果	1 9 7	農業用水を防火用水及び生活用水施設に利用することにより設置費節減
	河川流況安定効果	3 3 , 5 2 1	関連事業により整備された施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安 定する効果
	水辺環境整備効果	1 2 4	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		2 9 1 , 8 4 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	西 原
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 , 4 0 6 , 5 0 8 千円	
年 効 用		3 0 7 , 4 2 9 千円	
廃 用 損 失 額		3 5 , 8 2 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 7 8 6 , 6 9 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 4 , 2 4 3	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、玉ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 1 2 , 3 3 1	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、玉ねぎ
	維持管理費節減効果	2 4 , 4 1 4	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 4 6 , 4 4 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		3 0 7 , 4 2 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	中 原
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 , 2 4 9 , 9 2 4 千円	
年 効 用		3 1 2 , 5 2 9 千円	
廃 用 損 失 額		4 8 , 6 8 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 8 7 0 , 4 3 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 5 , 3 9 2	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、玉ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 2 7 , 2 5 0	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、玉ねぎ
	維持管理費節減効果	2 8 , 9 7 6	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 3 0 , 9 1 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		3 1 2 , 5 2 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	伊藤沼
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 6 2 , 6 0 0 千円	
年 効 用		6 6 , 2 0 7 千円	
廃 用 損 失 額		9 , 2 3 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 2 5 , 9 6 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 1 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 9 , 1 0 6	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、小豆、アスパラ
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 3 , 5 3 4	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、小豆、アスパラ
	維持管理費節減効果	4 , 9 3 9	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 , 7 2 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	1 6	用水路の暗渠化による事故率の減少
	地域用水効果	2	農業用水を防火用水及び生活用水施設に利用することにより設置費節減
	河川流況安定効果	4 2 6	関連事業により整備された施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
	水辺環境整備効果	2	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		6 6 , 2 0 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	納内中央
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 1 1 8 , 6 3 8 千円	
年 効 用		1 4 2 , 5 7 1 千円	
廃 用 損 失 額		7 0 , 5 9 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 6 9 2 , 4 0 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 1 , 5 8 9	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、畑、馬鈴薯、そば、 アヲ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 1 , 0 6 1	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、畑、馬鈴薯、そば、 アヲ
	維持管理費節減効果	3 0 , 4 7 2	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7 9 , 3 0 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	3 , 4 8 2	用水路の暗渠化及びフェンス設置による事故率の減少
	文化財発現効果	1 9 9	用水改良に伴い埋蔵文化財が具現化され発掘調査により文化的価値が明確になる効果
	河川流況安定効果	6 , 3 6 2	関連事業により整備された施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
	地域用水効果	3	農業用水を防火用水施設に利用することにより設置費節減
	水辺環境整備効果	9 6	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		1 4 2 , 5 7 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	豊里南
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 4 0 4 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 6 6 , 8 7 3 千円	
廃 用 損 失 額		1 8 9 , 9 9 9 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 8 6 6 , 2 8 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 6 , 9 7 0	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、蕎麦、チャ、アヲ
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 9 , 5 8 3	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、蕎麦、チャ、アヲ
	維持管理費節減効果	5 4 , 2 7 2	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3 6 , 0 4 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		1 6 6 , 8 7 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	晩翠栄
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 5 4 3 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 2 8 , 6 8 4 千円	
廃 用 損 失 額		7 2 , 0 9 9 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 1 8 9 , 4 8 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 4 , 0 8 7	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、キャベツ、苺
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 9 , 8 3 2	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、キャベツ、苺
	維持管理費節減効果	1 2 , 6 8 7	用排水施設及び耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 2 , 0 7 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		1 2 8 , 6 8 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	本中三川
-----	-------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		１，５９６，０００千円	
年 効 用		１１５，８９１千円	
廃 用 損 失 額		２９６，６１０千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		３８ 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		０．０５３３	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	１，８７７，７０５千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．１７	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	１８，０３０	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 馬鈴薯、てん菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	２４，８０８	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 馬鈴薯、てん菜
	維持管理費節減効果	２０，７８５	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	５２，２６８	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		１１５，８９１	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	南長沼中央
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 6 4 6 , 6 3 6 千円	
年 効 用		1 0 7 , 2 0 9 千円	
廃 用 損 失 額		4 0 , 2 6 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 9 7 1 , 1 6 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 6 , 4 0 7	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、玉ねぎ、馬鈴薯、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 5 , 9 4 1	用水施設の改修及び排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、玉ねぎ、馬鈴薯、白菜
	維持管理費節減効果	1 7 , 6 8 5	用水系統の見直し及び用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 6 , 6 6 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	9 8	用水路の暗渠化及びフェンス設置による事故率の減少
	公共施設保全効果	4 1 2	関連事業により整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
計		1 0 7 , 2 0 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	南学田北部
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 , 5 8 1 , 1 3 7 千円	
年 効 用		3 7 1 , 9 7 0 千円	
廃 用 損 失 額		1 9 9 , 3 1 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 , 1 3 7 , 3 7 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 2 , 8 8 3	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、小豆、玉ねぎ、馬鈴薯、 $\times$ ON
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 3 , 2 1 2	用水改良や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、小豆、玉ねぎ、馬鈴薯、 $\times$ ON
	維持管理費節減効果	1 4 9 , 8 9 3	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道、耕作道
	営農に係る走行経費節減効果	5 , 1 4 9	道路整備による農産物等の輸送にかかる経費の低減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 3 8 , 2 0 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	5 6	道路整備による一般交通にかかる経費の低減
	安全性向上効果	2 , 5 1 6	用水路の暗渠化及びフェンス設置による事故率の減少
	公共施設保全効果	1 0 , 0 5 2	関連事業により整備された施設整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
計		3 7 1 , 9 7 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	月形西部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 6 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 5 , 9 5 5 千円	
廃 用 損 失 額			
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 4 0 , 9 0 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 6 , 4 8 3	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、麻、チャ、カン
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 0 , 8 1 7	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、麻、チャ、カン
	維持管理費節減効果	1 , 8 1 7	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 , 8 3 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		3 5 , 9 5 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	花月第2
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 , 7 0 2 , 9 3 2 千円	
年 効 用		3 8 5 , 9 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		1 1 0 , 2 4 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 , 5 6 3 , 1 9 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 8 , 8 3 0	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、玉ねぎ、大豆、大根、刈
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 4 1 , 3 9 7	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、玉ねぎ、大豆、大根、刈
	維持管理費節減効果	1 1 9 , 2 5 9	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7 2 , 1 7 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	3 0 6	用水路の暗渠化による事故率の減少
	公共施設保全効果	5 , 7 6 7	ダム整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	1 6 , 4 7 5	関連事業により整備された施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する
	地域用水効果	5 1 5	農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用することにより設置費節減
	地域排水効果	4 7 8	排水路整備による、農業施設及び公共施設への水害の防止・軽減
	水辺環境整備効果	7 7 4	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		3 8 5 , 9 7 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	追 分
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 , 0 1 5 , 9 9 0 千円	
年 効 用		3 5 6 , 3 6 6 千円	
廃 用 損 失 額		1 1 2 , 8 1 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 , 5 6 3 , 2 2 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 6 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 8 , 1 4 8	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、小豆、アスパラ
営農経費の節減	営農経費節減効果	8 8 , 9 5 2	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、小豆、アスパラ
	維持管理費節減効果	1 3 5 , 9 6 8	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7 2 , 7 4 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	2 , 8 9 0	関連事業として整備された施設の整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	2 6 , 0 4 8	関連事業として整備される施設の設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する効果
	地域用水効果	5 9 3	農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用することにより設置費節減
	水辺環境整備効果	1 , 0 2 2	関連事業により整備された施設の附帯工（魚道）や施設周辺の修景整備による効果
計		5 6 , 3 6 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	幌里西
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		374,850千円	
年 効 用		46,248千円	
廃 用 損 失 額			
総合耐用年数		41 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	896,279千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2.39	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6,984	用水改良やほ場の排水改良による 転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、小豆、大豆、 $\times$ 0 $\times$
営農経費の節減	営農経費節減効果	39,264	ほ場の排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、小豆、大豆、 $\times$ 0 $\times$
計		46,248	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	島 津
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 1 3 , 5 0 0 千円	
年 効 用		6 1 , 9 5 5 千円	
廃 用 損 失 額		3 4 , 3 2 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 1 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 1 7 8 , 1 0 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 5 , 2 3 3	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、馬鈴薯
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 1 , 9 1 4	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、馬鈴薯
	維持管理費節減効果	1 0 , 4 2 2	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 , 3 8 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		6 1 , 9 5 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東 豊
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 3 6 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		9 6 , 1 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		4 5 , 4 4 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 6 9 3 , 6 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 7 , 9 5 3	用水改良やほ場の排水改良による 転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、小豆、苺、 チャ、大根、アスパラ
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 9 , 4 0 0	ほ場の区画整理や用排水の改良による 労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、小豆、苺、 チャ、大根、アスパラ
	維持管理費節減効果	5 , 4 7 5	用排水施設、耕作道の改修に伴う 維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 3 , 3 4 6	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持
計		9 6 , 1 7 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	厚南第 2
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 , 4 8 5 , 6 7 3 千円	
年 効 用		3 0 9 , 8 8 8 千円	
廃 用 損 失 額		8 5 , 3 0 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 , 0 7 5 , 4 8 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 3 , 0 2 7	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、てん菜、馬鈴薯
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 2 4 , 8 9 3	用水施設の改修及び排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、てん菜、馬鈴薯
	維持管理費節減効果	5 2 , 0 6 0	用水系統の見直し及び用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 1 8 , 8 7 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	地域用水効果	1 , 0 3 3	農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用することにより設置費節減
計		3 0 9 , 8 8 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	徳田 第二
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 5 2 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 1 2 , 2 3 3 千円	
廃 用 損 失 額		2 0 , 6 0 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 9 5 1 , 8 6 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 , 8 1 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、とまと、きゅうり ねぎ、レタス、小麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 5 , 6 2 4	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	5 , 7 7 5	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 6 , 0 0 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1 9	換地手法を用いて先行的に公用地等を合理的、経済的に取得することによる用地交渉の期間の短縮、節減や測量経費、登記手続き等事務経費の節減
計		1 1 2 , 2 3 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	古城 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 , 8 2 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 1 9 , 2 1 5 千円	
廃 用 損 失 額		8 2 , 8 5 5 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 , 4 7 7 , 6 3 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 6 , 9 3 9	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、 牧草、きゅうり、トマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8 1 , 0 5 6	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、牧草、きゅうり、大豆、トマト
	維持管理費節減効果	7 3 , 7 6 0	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 1 5 , 9 8 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	9 2 4	換地手法を用いて先行的に公用地等を合理的、経済的に取得することによる用地交渉の期間の短縮、節減や測量経費、登記手続き等事務経費の節減
	地域資産保全・向上効果	5 5 6	将来国土調査を行う予定であるが本事業を実施した場合に行う換地作業により付随的に地籍が明確となる効果
計		4 1 9 , 2 1 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	玉 浦 中 部
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 2 3 7 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 3 0 , 5 3 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 2 9 4 , 0 2 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 8 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 , 8 1 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、大麦
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 2 1 , 2 8 2	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、大麦
	維持管理費節減効果	1 , 8 7 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 , 5 6 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		1 3 0 , 5 3 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	川崎東部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		409,000千円	
年 効 用		38,636千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	741,574千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.81	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	414	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、ソバ、つるむらさき
営農経費の節減	営農経費節減効果	34,583	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	475	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3,164	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		38,636	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	土 手 外
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		505,000千円	
年 効 用		61,357千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		34年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,093,708千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2.16	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,317	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	54,808	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	1,178	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,054	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		61,357	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	下 多 田 川
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 2 1 , 7 5 2 千円	
年 効 用		4 6 , 0 2 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 4 2 , 9 4 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 , 9 2 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、ネギ、タマネギ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 0 , 7 4 5	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果	8 , 6 9 4	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 , 6 5 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持等 対象施設：用水路、排水路
計		4 6 , 0 2 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	広 長
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 9 1 2 , 0 8 2 千円	
年 効 用		1 3 4 , 9 0 8 千円	
廃 用 損 失 額		4 6 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 3 7 0 , 5 0 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 9 9 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 1 4 , 9 4 4	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆
	維持管理費節減効果	2 , 1 6 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 1 , 7 9 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		1 3 4 , 9 0 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	下 志 田
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 6 4 9 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 6 4 , 2 6 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 0 0 8 , 4 9 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 8 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 , 6 5 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、 ほうれん草
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 4 6 , 0 7 3	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦
	維持管理費節減効果	5 , 6 1 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	7 , 9 2 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		1 6 4 , 2 6 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	栗 原
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 6 0 6 , 8 5 4 千円	
年 効 用		1 3 9 , 3 7 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 4 8 4 , 4 7 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 6 1 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、きゅうり
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 1 6 , 3 1 5	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	4 , 7 3 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 2 , 7 1 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		1 3 9 , 3 7 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	青 木
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		576,000千円	
年 効 用		81,085千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,358,208千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2.35	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4,495	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、牧草、ニンニク
営農経費の節減	営農経費節減効果	72,046	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	478	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,066	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		81,085	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	草 木
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 5 4 9 , 8 0 0 千円	
年 効 用		1 0 8 , 3 3 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 0 5 5 , 6 5 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 7 , 0 9 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、トマト、 キュウリ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	7 1 , 4 1 7	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	3 , 8 5 2	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 , 9 6 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機
計		1 0 8 , 3 3 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	男 鹿 浦 田
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 4 3 , 9 5 0 千円	
年 効 用		8 7 , 4 2 7 千円	
廃 用 損 失 額		4 1 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 6 5 5 , 3 9 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 7 5	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	7 , 0 6 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、枝豆
営農経費の節減	6 3 , 3 8 2	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	1 1 , 3 3 3	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、
施設更新による従前の農業生産の維持	5 , 3 4 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	3 0 8	将来国土調査を行う予定であるが、本事業を実施した場合に行う換地作業により、付随的に地籍が明確となる効果
計	8 7 , 4 2 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	若 美 中 央
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3,592,050千円	
年 効 用		252,282千円	
廃 用 損 失 額		3,682千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		52年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0475	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5,307,518千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.47	

２．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	21,639	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、メロン、かぼちゃ、馬鈴薯
営農経費の節減	184,089	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	28,432	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、
施設更新による従前の農業生産の維持	18,122	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
計	252,282	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	仙 北 西
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 , 2 7 4 , 5 5 0 千円	
年 効 用		3 7 3 , 6 7 3 千円	
廃 用 損 失 額		1 2 , 2 3 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 , 1 4 6 , 2 5 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 6 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 2 , 5 1 1	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、枝豆、ハト麦、アスパラガス
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 7 8 , 4 8 1	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	4 2 , 8 6 9	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 9 , 3 0 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域資産保全・向上効果	5 0 9	将来国土調査を行う予定であるが、本事業を実施した場合に行う換地作業により、付随的に地籍が明確となる効果
計		3 7 3 , 6 7 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	手倉・相内端
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 6 7 , 3 0 0 千円	
年 効 用		6 2 , 7 8 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 1 6 , 7 6 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 0	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	6 , 1 2 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、枝豆、そば、アスパラガス、ほうれん草
営農経費の節減	4 7 , 4 9 1	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	6 , 1 9 6	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	2 , 9 7 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
計	6 2 , 7 8 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	会 塚
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 6 9 7 , 1 8 9 千円	
年 効 用		2 2 5 , 0 9 9 千円	
廃 用 損 失 額		3 , 6 1 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 1 1 9 , 0 7 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	38,406	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、枝豆、スイカ、ほうれん草、アスパラガス
営農経費の節減	営農経費節減効果	131,687	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	28,742	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	26,264	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
計		225,099	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	山形	地区名	一本杉福地
-----	-------------	-------	----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 1 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 6 , 1 3 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 8 4 , 8 2 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 3	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	5 , 0 9 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、そば、ニラ、アスパラ
営農経費の節減	1 9 , 1 7 3	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、そば、ニラ、アスパラ
	3 9 3	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	1 , 0 6 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	4 1 0	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：生態系保全水路
計	2 6 , 1 3 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	山形	地区名	豊 里
-----	-------------	-------	----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 2 0 8 , 5 0 0 千円	
年 効 用		8 1 , 9 4 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 5 3 7 , 4 6 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 7	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果 9 , 0 2 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、さといも、なす、かぼちゃ、アスパラ、ポット苗
	品 質 向 上 効 果 3 4 5	農道舗装による走行中の農産物の荷痛み等が軽減 対象作物：なす
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果 5 8 , 2 0 6	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、さといも、なす、そば、アスパラ
	維持管理費節減効果 4 , 7 0 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果 9 8	農道が改良されることによる農産物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果 9 , 3 4 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果 2 2 7	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：魚巢ブロック水路
計	8 1 , 9 4 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	山形	地区名	鮭川左岸２期
-----	-------------	-------	----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 , 5 9 1 , 9 0 0 千円	
年 効 用		4 7 6 , 7 0 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 7 0 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 , 7 9 0 , 6 4 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

２．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	3 5 , 0 4 8	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、にら、 とまと、きゅうり、枝豆
営農経費の節減	3 6 6 , 4 5 8	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、にら、 そば、とまと、 きゅうり、ねぎ、枝豆
	6 , 8 8 8	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	6 7 , 2 9 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	1 , 0 1 5	換地手法を用いて先行的に公用地等を合理的、経済的に取得することによる用地交渉の期間の短縮、節減や測量経費、登記手続き等事務経費の節減
計	4 7 6 , 7 0 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	木 伏
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 3 9 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 5 , 5 7 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 7 9 , 8 5 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 0 9 5	水田の排水改良等による転作作物の面積増減や単収の増加 対象作物：水稲、夏秋トマト、アスパラガス
	品 質 向 上 効 果	9 9	農道舗装による走行中の農産物の荷痛み等が軽減 対象作物：夏秋トマト、馬鈴薯、白菜、大根
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 3 , 3 7 0	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、アスパラガス、馬鈴薯、白菜、大根
	維持管理費節減効果	9 3 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	7 3	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：多自然型水路
計		2 5 , 5 7 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	長 坂
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 4 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 4 , 7 1 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 7 8 , 9 3 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	1 , 1 1 5	水田の排水改良等による転作作物の面積増減や単収の増加 対象作物：水稲、夏秋トマト、馬鈴薯、大根、白菜
営農経費の節減	2 1 , 3 3 2	排水改良等でほ場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、馬鈴薯、大根
	4 5 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	8 4 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：関連事業の用水路・頭首工
地域の生活環境の保全・向上	5 4 7	発掘調査により文化的価値が明確となる効果 対象遺跡：長坂遺跡
	4 1 6	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：渓流水路
計	2 4 , 7 1 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	潮来市牛堀
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,040,000千円	
年 効 用		89,324千円	
廃 用 損 失 額		6,845千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,514,859千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.45	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	40,208	水田の排水改良等による転作物物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、白菜、飼料用トウモロコシ、甘藷、ばれいしょ、キュウリ、大麦、春菊
	品質向上効果	628	砂利道を舗装することにより農作物の荷痛みを防止する 対象作物：白菜、ばれいしょ、キュウリ
営農経費の節減	営農経費節減効果	27,307	排水改良等による機械作業効率の向上に伴う労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、飼料用トウモロコシ、甘藷、ばれいしょ
	維持管理費節減効果	1,355	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：加圧機場、用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	15,056	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：テラー、軽4輪、1t車、2t車、4t車
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,770	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：加圧機場、用水路
計		89,324	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	上根本
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 9 6 , 4 0 0 千円	
年 効 用		4 9 , 0 2 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 7 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 3 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 7 5 , 7 1 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	7 , 5 3 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、大麦、カボチャ、小麦
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 8 , 2 5 2	排水改良等による機械作業効率の向上に伴う労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、大麦、カボチャ
	維持管理費節減効果	1 , 5 0 3	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：機場、用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 , 8 2 0	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：テラー、軽4輪、1t車、2t車
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	8 , 9 1 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：機場、用水路、排水路
計		4 9 , 0 2 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	高井
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		622,000千円	
年 効 用		39,699千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	676,303千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.08	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	12,886	水田の用排水改良等による転作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、白菜、飼料用イネ、イチゴ、大麦
	品質向上効果	323	砂利道を舗装することにより農作物の荷痛みを防止する 対象作物：イチゴ
営農経費の節減	営農経費節減効果	10,642	排水改良等による機械作業効率の向上に伴う労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、飼料用イネ
	維持管理費節減効果	5,149	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：機場、用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	5,677	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：トラ、軽4輪、1t車、2t車、4t車
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,751	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：機場、用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	271	道路整備により一般車の走行経費節減 対象施設：計画路線
計		39,699	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	有ヶ池
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 7 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		7 2 , 5 2 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 3 2 8 , 3 1 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 1 , 0 7 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、白菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	9 , 2 3 0	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦
	維持管理費節減効果	1 , 7 8 0	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：機場、用水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	5 , 0 2 4	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：テラー、軽4輪、2t車
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	4 2 , 8 9 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：機場
地域の生活環境の保全・向上	一 般 交 通 等 経 費 節 減 効 果	2 , 4 2 4	道路整備により一般車の走行経費節減 対象施設：計画路線
	地 籍 確 定 効 果	9 6	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
計		7 2 , 5 2 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	七郷中川 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 , 1 9 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 4 6 , 0 2 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 , 3 9 9 , 1 6 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 6 7 , 7 6 4	水田の用排水改良等による転作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、白菜、キャベツ、大豆、レタス、小麦、苺、ホウレンソウ
	品 質 向 上 効 果	1 6 , 4 2 4	砂利道を舗装することにより農作物の荷痛みを防止する 対象作物：キャベツ、白菜、レタス、ホウレンソウ、苺
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 9 5 , 2 7 5	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、白菜、キャベツ、大豆、苺、ホウレンソウ
	維持管理費節減効果	8 , 2 2 3	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：機場、用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	1 2 , 7 4 1	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：軽 4 輪、2 t 車、6 t 車
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 2 , 4 9 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境の 保全・向上	一 般 交 通 等 経 費 節 減 効 果	1 , 2 3 4	道路整備により一般車の走行経費 節減 対象施設：計画路線
	非農用地等創設効果	1 9 , 1 0 7	換地手法を用いた合理的かつ経済 的な用地取得による経費節減 対象施設：道路、施設用地
	地 籍 確 定 効 果	2 , 7 6 1	区画が整形化され、換地事業によ り地籍が明確になる 対象区域：地区全域
計		4 4 6 , 0 2 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	江川・五千石
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,989,000千円	
年 効 用		296,934千円	
廃 用 損 失 額		2,937千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		45年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0502	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5,912,083千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.97	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	19,939	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、𦵄𦵄、𦵄𦵄𦵄、大豆、𦵄、𦵄𦵄、𦵄𦵄、𦵄𦵄、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	234,439	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、𦵄𦵄、𦵄𦵄𦵄、大豆、𦵄、𦵄𦵄、𦵄𦵄、𦵄𦵄、白菜
	維持管理費節減効果	32,331	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：機場、用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3,073	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	3,321	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	1,851	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路、施設用地

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境の 保全・向上	水辺環境整備効果	1 , 9 8 0	用水路の一部に魚類等の生息環境 に配慮したフシ簗工及び板柵工を設 置することによる水辺環境保全 対象施設：用水路
計		2 9 6 , 9 3 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	小倉
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 5 9 , 0 0 0 千円	
年 効 用		6 5 , 0 8 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 1 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 6 6 , 1 6 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 7 1 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、大豆、サトウ、芋、飼料作物、大根
	営農経費節減効果	5 7 , 0 1 0	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、大豆、サトウ、大根、芋、サト
地域の生活環境の保全・向上	維持管理費節減効果	3 , 8 4 6	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	地 籍 確 定 効 果	6 3 9	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	1 , 0 1 1	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路、施設用地
	水辺環境整備効果	8 6 0	用(排)水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した石積水路等とすることによる水辺環境保全 対象施設：環境保全水路、排水路
計		6 5 , 0 8 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	鬼怒川西部
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,164,000千円	
年 効 用		101,854千円	
廃 用 損 失 額		428千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0514	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,981,167千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.70	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,942	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、イコ、タネ、大豆、飼料作物、コ、ジャガイモ、ア白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	90,605	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、大豆、イコ、コ、白菜、タネ、ア、ジャガイモ
	維持管理費節減効果	1,931	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,340	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：機場
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	1,115	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	2,667	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路、施設用地

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境の 保全・向上	水辺環境整備効果	1 , 2 5 4	魚類等の生息環境に配慮した土水路、冬季の回避場所を設置することによる水辺環境保全 対象施設：環境保全水路、湿地、緑地
計		1 0 1 , 8 5 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	琵琶池
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 0 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 7 , 5 0 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 0 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 4 7 , 9 3 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 , 2 3 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、大豆、トトコウ、飼料作物、キャリ、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 2 , 7 6 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、大豆、トトコウ、キャリ、白菜
	維持管理費節減効果	1 , 1 1 4	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	2 4 4	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	1 9 7	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路、生態系用地
	水辺環境整備効果	9 5 2	排水路の一部に貝類等の生息環境に配慮したワンドを設けることによる水辺環境保全 対象施設：環境保全水路
計		1 7 , 5 0 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	群馬県	地区名	開田
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 3 3 , 4 0 0 千円	
年 効 用		3 7 , 1 9 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 5 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 6 7 , 7 9 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 8 , 5 0 8	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、枝豆、ゴボウ、苜蓿、小麦、ホウレンソウ、白菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 2 , 6 5 5	排水改良等による機械作業効率の向上及び農道整備による営農機械の大型化に伴う労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、枝豆、ゴボウ、苜蓿、ホウレンソウ
	維持管理費節減効果	3 7 4	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：道路、用水路、排水路
	営農に係る走行経費節減効果	3 , 0 3 9	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：軽4輪、2t車
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 0 2 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	5 9 4	用(排)水路の一部に小動物の生息環境に配慮した脱出スロープ等を設けることによる水辺環境保全 対象施設：環境保全水路
計		3 7 , 1 9 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	埼玉県	地区名	大串
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 0 4 , 9 4 0 千円	
年 効 用		3 4 , 9 3 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 7 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 3 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 5 2 , 6 9 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 2 9 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、イコ [*] 、小麦
	品 質 向 上 効 果	8 1 2	砂利道を舗装することにより農作物の荷痛みを防止する 対象作物：イコ [*]
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 6 , 9 5 5	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆
	維持管理費節減効果	9 9 7	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：用水路、排水路、揚水機場、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	8 1 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	5 5	排水路の一部に小動物の生息環境に配慮した脱出スロープ等を設置することによる水辺環境保全 対象施設：環境保全水路
計		3 4 , 9 3 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	埼玉県	地区名	鴻巣
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 3 4 , 4 6 6 千円	
年 効 用		5 6 , 0 7 0 千円	
廃 用 損 失 額		6 , 9 7 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 4 7 , 4 1 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 6 8 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、ソバ、アズキ、小麦、ア、イソク
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 0 , 1 8 3	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆
	維持管理費節減効果	5 , 6 4 8	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	1 1 , 5 2 3	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：トラクター、軽4輪、1t車、2t車
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 2 , 8 0 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	2 2 5	排水路の一部に小動物の落下防止のための間伐材蓋掛けを設置することによる水辺環境保全 対象施設：排水路
計		5 6 , 0 7 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	千葉県	地区名	三和養老
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,674,000千円	
年 効 用		114,956千円	
廃 用 損 失 額		10,989千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,947,376千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.16	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	36,017	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、キュウリ、パレショ、トマト、小麦、ピーマン、枝豆、シトウ、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	62,977	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	1,313	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：機場、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	11,637	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：機場、排水路
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	1,113	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	529	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路、施設用地
	文化財発見効果	1,370	埋蔵文化財が具現化され、その文化的価値が明確となる 対象区域：計画路線
計		114,956	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	千葉県	地区名	平戸 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 9 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		5 7 , 3 9 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 0 8 , 0 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 1 , 9 3 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、飼料用休、枝豆、キュウリ、トマト
	営農経費節減効果	3 4 , 3 4 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
地域の生活環境の保全・向上	維持管理費節減効果	1 8 7	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：機場
	地 籍 確 定 効 果	2 5 0	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	6 7 3	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路
計		5 7 , 3 9 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	千葉県	地区名	横田
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,625,000千円	
年 効 用		162,152千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,762,385千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.05	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	47,795	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、トウモロコシ、サインゲン、景観植物、飼料作物、大麦、レタス、食用パナ、トマト、苺、パレishヨ、キャベツ、ブロッコリー
営農経費の節減	営農経費節減効果	97,736	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	2,480	用水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：機場、用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9,694	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：機場、用水路
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	430	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	2,252	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境の 保全・向上	文 化 財 発 見 効 果	1 , 7 6 5	埋蔵文化財が具現化され、その文 化的価値が明確となる 対象区域：計画路線
計		1 6 2 , 1 5 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	千葉県	地区名	榎沢
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,715,000千円	
年 効 用		106,799千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,756,563千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.02	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	49,111	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、トウモロコシ、大豆、食用ガガイロ、ソラマメ、レタス、キュウリ
営農経費の節減	営農経費節減効果	59,398	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、キュウリ
	維持管理費節減効果	5,171	用水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：機場
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,249	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：機場
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	1,025	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	187	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：道路、施設用地
計		106,799	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	高根西部山之尻
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 5 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		5 5 , 4 5 3 千円	
廃 用 損 失 額		2 3 , 1 6 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 4 9 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 9 0 , 3 4 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 4 , 1 2 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、サトウ、大豆、水掛菜、大根、パレシヨ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 1 , 1 7 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、サトウ、大豆、水掛菜、大根、パレシヨ
	維持管理費節減効果	2 , 3 0 6	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 4 6 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		5 5 , 4 5 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	五十公野
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 9 0 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 4 2 , 9 3 2 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 6 0 0 , 9 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 7	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	2 3 , 4 8 6	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、なす、えだまめ
営農経費の節減	2 1 2 , 1 6 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、なす、えだまめ
	1 , 9 5 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：ファームpond、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	2 , 9 2 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路（市道）
地域の生活環境の保全・向上	8 0 6	非農用地を換地手法により合理的に創設できることによる用地交渉費等の節減
	1 , 5 8 4	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計	2 4 2 , 9 3 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	次新
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 8 7 , 2 9 2 千円	
年 効 用		6 5 , 2 8 5 千円	
廃 用 損 失 額		9 7 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 1 0 , 2 4 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 6	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	6 , 7 7 4	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、なす、さといも
営農経費の節減	4 9 , 4 5 0	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、なす、さといも
	3 6 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	8 , 1 0 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：幹線用水路、支線排水路、道路（村道）
地域の生活環境の保全・向上	2 4 9	非農用地を換地手法により合理的に創設できることによる用地交渉費等の節減
	3 4 5	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計	6 5 , 2 8 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	羽黒
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,332,123千円	
年 効 用		77,957千円	
廃 用 損 失 額		23,593千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,386,118千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	12,381	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、なす、ばれいしょ、キャベツ
営農経費の節減	41,333	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、なす、ばれいしょ、キャベツ
	375	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	23,868	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：支線排水路、揚水機、道路
計	77,957	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	和田南部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 2 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		6 0 , 8 4 9 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 1 6 7 , 9 2 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 6	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3 , 9 8 6	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、なす
営農経費の節減	5 5 , 0 3 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、なす
	1 , 0 6 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	2 4 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	1 0 8	非農用地を換地手法により合理的に創設できることによる用地交渉費等の節減
	4 1 4	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計	6 0 , 8 4 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	加茂新田
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 8 2 , 2 0 0 千円	
年 効 用		3 3 , 5 0 2 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 4 9 , 2 6 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 6 9	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	1 , 4 5 3	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆
営農経費の節減	3 2 , 0 9 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	6 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：ファームボンド、用水路、排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	1 9	非農用地を換地手法により合理的に創設できることによる用地交渉費等の節減
計	3 3 , 5 0 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	潟 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 , 0 0 1 , 7 2 9 千円	
年 効 用		4 6 0 , 1 3 0 千円	
廃 用 損 失 額		7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 , 3 2 0 , 6 0 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	49,263	水田の用排水分離及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	374,896	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、ねぎ
	維持管理費節減効果	1,867	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	33,728	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：支線用排水路、町道、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1,126	非農用地を換地手法により合理的に創設することによる用地交渉費等の節減
	公共施設保全効果	1	関連事業（県営かん排）の施行に伴う施設の更新により耐用年数の増加 対象施設：付替道路
	地籍確定効果	2,983	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計		460,130	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	塩沢一日市
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		882,000千円	
年 効 用		64,797千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,243,704千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.41	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,000	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、だいこん、ばれいしょ、なす、スイートコーン、ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	52,145	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、だいこん、ばれいしょ、なす、スイートコーン
	維持管理費節減効果	102	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9,550	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：支線排水路、道路
計		64,797	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	布施川左岸
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 0 4 9 , 4 7 5 千円	
年 効 用		6 4 , 3 7 3 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 3 5 , 5 6 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 7	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3 , 8 7 0	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大麦
営農経費の節減	4 5 , 9 7 8	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	1 , 1 1 8	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	1 1 , 1 7 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	3 1 2	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
	1 , 9 2 2	事業実施に伴う発掘調査により文化的価値が明確になる効果
計	6 4 , 3 7 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	串田
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,239,000千円	
年 効 用		94,158千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		33年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,654,796千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.33	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,903	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、大麦
営農経費の節減	62,980	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	276	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	20,817	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	4,419	事業実施に伴う発掘調査により文化的価値が明確になる効果
	1,763	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
計	94,158	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	水牧
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 2 5 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 2 , 4 1 1 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 8 0 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 7 3 , 5 9 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果 8 2	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻
	品 質 向 上 効 果 1 0	農道の舗装により、砂塵の発生を軽減することによって品質が向上する効果 対象作物：大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果 7 , 1 9 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果 6 4 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果 1 , 6 8 5	農道の拡幅舗装・車種変更により、走行費・人件費が節減する効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果 1 1 , 9 6 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果 4 7 7	農道の拡幅舗装により、走行費・人件費が節減する効果
	水辺環境整備効果 3 5 1	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
計		2 2 , 4 1 1

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	東石黒西部
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 3 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 1 , 9 5 9 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 6 1 , 1 6 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 7	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果 3 7	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：大豆、なす、はくさい
	品 質 向 上 効 果 7 3	農道の舗装により、生産物運搬の際、損傷を軽減することによって、生産物の品質が向上する効果 対象作物：なす、はくさい
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果 6 , 4 2 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果 1 , 0 6 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果 1 , 5 4 0	路面改良に伴う、輸送時間の短縮及び車種の変更
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果 1 2 , 8 2 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道
計	2 1 , 9 5 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	宝立第2
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 5 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		5 5 , 5 7 6 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 9 0 , 6 6 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 1	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3 , 1 0 7	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、かぼちゃ、ブロッコリー
営農経費の節減	4 0 , 8 6 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	1 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	8 , 8 0 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	3 9 8	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
	2 , 3 9 0	事業実施に伴う発掘調査により文化的価値が明確になる効果
計	5 5 , 5 7 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	野々江
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 6 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		7 7 , 4 3 3 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 4 8 , 9 1 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 , 8 5 2	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、かぼちゃ、ブロッコリー
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 2 , 6 3 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	8 4 5	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7 , 6 8 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	文化財発見効果	1 , 9 3 0	事業実施に伴う発掘調査により文化的価値が明確になる効果
	地籍確定効果	4 8 8	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計		7 7 , 4 3 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	南吉田
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 0 1 , 0 4 2 千円	
年 効 用		3 7 , 8 3 1 千円	
廃 用 損 失 額		5 , 8 1 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 1 6 , 4 0 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 3	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	1 , 6 4 0	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、いちじく
営農経費の節減	2 6 , 0 0 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦
	4 5 8	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	9 , 9 3 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	2 4 5	非農用地を換地手法により合理的に創設できることによる用地交渉費等の節減
	4 6 1	事業実施に伴う発掘調査により文化的価値が明確になる効果
計	3 7 , 8 3 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	三湖周辺
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 4 0 , 1 1 8 千円	
年 効 用		3 9 , 6 7 5 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 3 9 , 9 1 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 5	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	4 , 2 0 2	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦、トマト
営農経費の節減	1 2 , 9 5 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、大麦、トマト
	3 , 1 4 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	1 9 , 3 7 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機
計	3 9 , 6 7 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福井県	地区名	川西中部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 , 6 7 6 , 1 0 0 千円	
年 効 用		6 7 5 , 3 6 2 千円	
廃 用 損 失 額		8 , 0 8 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 1 , 1 0 1 , 6 7 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 9 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 5 , 1 2 3	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大麦、大豆、すいか、だいこん
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 5 4 , 7 8 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、大豆、すいか、だいこん
	維持管理費節減効果	1 6 , 0 8 6	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 8 3 , 0 9 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機、用排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	3 , 0 0 2	非農用地を換地手法により合理的に創設できることによる用地交渉費等の節減
	水辺環境整備効果	2 , 2 5 4	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
	地籍確定効果	1 , 0 1 8	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計		6 7 5 , 3 6 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福井県	地区名	坂井東
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,061,409千円	
年 効 用		85,094千円	
廃 用 損 失 額		17,296千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0577	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,457,470千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.37	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	1,949	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、大豆
営農経費の節減	65,099	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、大豆
	1,380	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	16,407	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	39	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
	220	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計	85,094	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福井県	地区名	花守冬野中野
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		701,350千円	
年 効 用		50,913千円	
廃 用 損 失 額		2,458千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	850,356千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.21	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3,229	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大麦、大豆、すいか、だいこん
営農経費の節減	18,153	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、大豆、すいか、だいこん
	7,431	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
	62	農道の拡幅舗装・車種変更により、走行費・人件費が節減する効果
施設更新による従前の農業生産の維持	21,214	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	59	国土調査に代わり本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
	725	関連事業(国営、県営かん排)の施行に伴う施設の更新により耐用年数の増加 対象施設：付替道路等
	40	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：排水路
計	50,913	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福井県	地区名	乙坂今北・落井
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 1 2 3 , 9 5 0 千円	
年 効 用		8 0 , 8 6 5 千円	
廃 用 損 失 額		3 1 , 6 6 4 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 3 2 2 , 8 5 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 , 4 9 2	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、大豆、トマト、だいこん
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 0 , 2 8 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、大豆、トマト、だいこん
	維持管理費節減効果	2 2 , 2 4 0	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、揚水機、道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 2 5	農道の拡幅舗装・車種変更により、走行費・人件費が節減する効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 1 , 8 0 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	1 , 7 8 2	関連事業（国営、県営かん排）の施行に伴う施設の更新により耐用年数の増加 対象施設：付替道路等
	水辺環境整備効果	2 8	用排水施設を親水性等環境に配慮した施設にすることによる水辺環境が保全、創造される効果 対象施設：用水路
計		8 0 , 8 6 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	三重県	地区名	有 田
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 , 7 5 5 , 6 7 4 千円	
年 効 用		5 5 0 , 5 6 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 0 , 0 5 5 , 4 8 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 8	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	3 5 , 5 5 9	水田の用水改良等による転作作物の面積拡大 対象作物：小麦、大豆、キャベツ
営農経費の節減	1 9 , 1 5 9	用水路のパイプライン化に伴う用水管理時間の短縮 対象作物：水稻
	8 2 , 8 3 9	用水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
	2 , 3 6 5	農道の整備による輸送経費の節減 対象作物：水稻、小麦、キャベツ等
施設更新による従前の農業生産の維持	3 8 5 , 7 3 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	1 , 8 9 5	開水路の暗渠化に伴う安全性の向上 対象施設：用水路
	2 1 , 2 2 9	用水路の改修に伴う公共埋設施設の更新等 対象施設：水道ガス等公共施設
	1 , 7 8 4	維持流量の確保に伴い、用水路等の水辺環境が保全・創造される効果 対象施設：用水路等
計	5 5 0 , 5 6 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	愛知県	地区名	長 岡
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 9 5 , 3 5 0 千円	
年 効 用		4 2 , 6 3 4 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 1 4 , 1 3 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6 , 0 5 1	水田の排水改良や用水の安定管理による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、春キャベツ、はくさい、にんじん
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 , 0 9 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	6 8 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 4 , 8 0 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、用水路、排水路
計		4 2 , 6 3 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	野村
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 9 5 , 7 0 0 千円	
年 効 用		9 2 , 5 1 7 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 6 2 5 , 9 5 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 8 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 , 4 3 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、きゅうり、小麦、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 8 , 5 2 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、きゅうり、小麦、白菜
	維持管理費節減効果	1 0 , 0 9 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 , 8 8 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1 , 3 1 5	公共用地等の非農用地を捻出することによる用地交渉の期間短縮、測量経費、登記手続き等の事務経費の節減 対象施設：公園用地、道路用地
	文化財発見効果	3 8 2	文化財の具現化、発掘調査による文化的価値の明確化
	安全性向上効果	3 0 1	安全施設整備による安全性の向上 対象施設：歩道
	地籍確定効果	4 0 9	換地事業による地籍の明確化の効果

	水辺環境整備効果	5 , 1 6 9	排水路の一部を魚類等の生息環境に 配慮した水路等を設置することによ る水辺環境の保全 対象施設：排水路
	計	9 2 , 5 1 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	竹生東
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 5 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 5 , 1 8 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 2 8 , 8 5 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	7 , 8 9 9	水田の用水改良による水稲の単収の増加と作目転換による生産量の増 対象作物：水稲、大豆、トマト、キャベツ、小麦、白菜
	品 質 向 上 効 果	6 3	農道の舗装によるに痛み防止に伴う商品化率の向上 対象作物：トマト、キャベツ、白菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 3 , 6 3 2	用排水整備に伴うかん水労働時間、乾田化に伴う労働時間の短縮 対象作物：水稲、大豆、トマト、キャベツ、小麦、白菜
	維持管理費節減効果	3 , 0 3 3	用排水施設の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	4 8 4	農道整備に伴う稼働時間短縮により生じる走行経費節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 8 , 7 8 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路

地域の生活環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	1 , 2 9 6	排水路の一部を魚類等の生息環境に 配慮した水路等を設置することによ る水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		4 5 , 1 8 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	竹生西
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		605,878千円	
年 効 用		50,271千円	
廃 用 損 失 額		16,575千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0616	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	799,513千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.31	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5,048	水田の用水改良による水稲の単収の増加と作目転換による生産量の増 対象作物：水稲、大豆、小麦、白菜
	品質向上効果	28	農道の舗装によるに痛み防止に伴う商品化率の向上 対象作物：白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	11,484	用排水整備に伴うかん水労働時間の短縮 対象作物：水稲、大豆、小麦、白菜
	維持管理費節減効果	2,902	用排水施設の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	748	農道整備に伴う稼働時間短縮により生じる走行経費節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	26,846	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域用水効果	128	農業用水を防火用水に利用することによる、防火用水施設の設置経費の

			節減 対象施設：用水路
	水辺環境整備効果	2 , 3 5 2	排水路の一部を魚類等の生息環境に 配慮した水路等を設置することによ る水辺環境の保全 対象施設：排水路
	一般交通等経費節減 効果	7 3 5	農道整備に伴う一般車両の走行経費 の節減
	計	5 0 , 2 7 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	木尾
-----	-------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 3 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 8 , 7 5 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 0 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 1 2 , 6 3 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 4	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 , 1 5 6	水田の用水改良による水稲の単収の増加と作目転換による生産量の増 対象作物：水稲、大豆、きゃべつ、小麦、だいこん
	品 質 向 上 効 果	1 1	農道の舗装によるに痛み防止に伴う商品化率の向上 対象作物：白菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 , 6 7 0	用排水整備に伴うかん水労働時間の短縮 対象作物：水稲、大豆、きゃべつ、小麦、だいこん
	維持管理費節減効果	1 , 6 7 4	用排水施設の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 9 2	農道整備に伴う稼働時間短縮により生じる走行経費節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 0 , 4 6 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路

地域の生活環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	8 2 5	排水路の一部を魚類等の生息環境に 配慮した水路等を設置することによ る水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		1 8 , 9 9 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	京都府	地区名	河東
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 8 0 , 1 0 0 千円	
年 効 用		2 8 , 4 5 4 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 1 4 , 5 3 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 , 8 1 1	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小豆、黒大豆、さといも、茶、牧草、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 7 , 9 2 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、牧草、黒大豆、さといも、小豆、白菜
	維持管理費節減効果	1 , 2 4 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 8 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	5 , 2 0 5	公共用地等の非農用地を捻出することによる用地交渉の期間短縮、測量経費、登記手続き等の事務経費の節減 対象施設：公園用地、道路用地
	地籍確定効果	1 , 4 2 4	換地事業による地籍の明確化の効果
	水辺環境整備効果	6 6 2	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した水路等を設置することによる水辺環境の保全

		対象施設：排水路
計	2 8 , 4 5 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	大阪府	地区名	能勢
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		108,570千円	
年 効 用		10,114千円	
廃 用 損 失 額		5,420千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		22年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0705	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	138,041千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.27	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	756	乾田化に伴う単収の増加 対象作物：水稲、トマト、なす、きゅうり、白菜、ほうれん草
	品質向上効果	687	農道の舗装による痛み防止に伴う商品化率の向上 対象作物：トマト、なす、きゅうり、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,575	乾田化に伴う労働時間の短縮 対象施設：暗渠排水
	維持管理費節減効果	3,807	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1,396	農道整備に伴う稼働時間短縮により生じる走行経費節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,893	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		10,114	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	兵庫県	地区名	栗住野
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 9 6 , 3 5 0 千円	
年 効 用		1 6 , 1 3 9 千円	
廃 用 損 失 額		2 , 8 8 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 5 0 , 0 7 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	9 , 6 8 7	水田の用水改良による水稲の単収の増加と作目転換による生産量の増 対象作物：水稲、小豆、ぶどう
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 , 4 0 5	パイプライン化によるかん排水管理時間の短縮及び湿田の乾田化に伴う農業機械の作業効率向上による営農時間の短縮 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	1 , 9 2 4	用排水施設の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 8 6 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機、用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	2 5 7	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した水路等を設置することによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		1 6 , 1 3 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	鳥取県	地区名	日 置 谷
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 3 5 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 3 , 8 9 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 9 5 , 6 5 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 4 4 9	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大麦、大豆、白ねぎ、玉ねぎ、ブロッコリー
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 3 , 3 8 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、大豆、白ねぎ、玉ねぎ、ブロッコリー
	維持管理費節減効果	2 , 5 8 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 3 4 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	地 籍 確 定 効 果	1 2 7	国土調査が未実施の地域で区画整理により区画が整形化され、付随的に地籍が明確となる効果の発現
計		3 3 , 8 9 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	鳥取県	地区名	北 条 中 央
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 8 7 , 7 5 0 千円	
年 効 用		4 7 , 6 2 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 5 3 , 5 7 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	7 , 2 8 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大麦、大豆、スイカ、トマト、玉ねぎ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 6 , 5 6 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大麦、大豆、スイカ、トマト、玉ねぎ
	維持管理費節減効果	8 0 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 9 7 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路
計		4 7 , 6 2 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	島根県	地区名	池 田
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 2 6 , 1 9 6 千円	
年 効 用		5 5 , 9 9 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 2 5 , 5 8 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 0	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	6 , 1 1 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、キャベツ、スートコーン、ブルーベリー、飼料
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 0 , 8 2 9 ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、キャベツ、スートコーン、飼料
	営農に係る走行経費節減効果	3 , 7 7 5 道路の新設に伴う走行時間の短縮や機械経費の節減 対象施設：道路
	維持管理費節減効果	4 7 1 用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 2 1 8 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1 4 1 換地手法を用い計画的に公共用地を創設することで、経済的に用地を取得できる効果
	地 籍 確 定 効 果	3 0 8 国土調査が未実施の地域で区画整理により区画が整形化され、付随的に地籍が明確となる効果の発現
	水辺環境整備効果	2 , 1 3 8 排水路の一部を水生生物の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
計		5 5 , 9 9 7

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	広島県	地区名	川 尻
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 6 7 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 6 , 8 9 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 2 8 , 5 8 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 9 4 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、アスパラガス、大豆、白ねぎ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 2 , 1 8 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、アスパラガス、大豆、白ねぎ
	維持管理費節減効果	1 7 0	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 , 2 9 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	1 , 3 1 2	排水路の一部を水生生物の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
計		3 6 , 8 9 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	徳島県	地区名	今津南部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		887,250千円	
年 効 用		78,604千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,292,828千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.45	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	5,443	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、オクラ、大豆、きゅうり、キャベツ、ブロッコリー、菜の花
営農経費の節減	70,133	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、オクラ、大豆、きゅうり、キャベツ、ブロッコリー、菜の花
	2,322	用排水施設等の新設、改修に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	517	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	601	国土調査が未実施の地域で区画整理により区画が整形化され、付随的に地籍が明確となる効果の発現
	315	排水路の一部を水生生物の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
	3,917	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具現化されると共に発掘調査により、文化的価値が明確となる効果の発現
計	78,604	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	香川県	地区名	北
-----	-------------	-------	-----	-----	---

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		798,000千円	
年 効 用		58,459千円	
廃用損失額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		33年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,027,398千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.28	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4,686	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、ブロッコリー、きゅうり、イチゴ、飼料
営農経費の節減	営農経費節減効果	52,889	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、ブロッコリー、きゅうり、飼料
	維持管理費節減効果	624	用排水施設等の新設、改良に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	747	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	231	ため池に面した護岸の一部を水生生物の生息に配慮した護岸とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：ため池護岸
	文化財発見効果	530	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具現化されると共に発掘調査により、文化的価値が明確となる効果の発現
計		58,459	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	愛媛県	地区名	天 満 上
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 3 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 5 , 7 0 9 千円	
廃 用 損 失 額		1 1 , 1 7 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 4 6 , 4 0 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 8 5 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、裸麦、里芋、トマト、菊、キャベツ、柑橘類
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 3 , 6 5 3	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、裸麦、里芋、トマト、菊、キャベツ、柑橘類
	維持管理費節減効果	8 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、用水機場、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 , 8 7 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1 9 0	換地手法を用い計画的に公共用地を創設することで、経済的に用地を取得できる効果
	水辺環境整備効果	2 2 1	排水路の一部を水生生物の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
計		4 5 , 7 0 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	高知県	地区名	十 市
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 2 6 6 , 3 0 0 千円	
年 効 用		8 8 , 7 4 1 千円	
廃 用 損 失 額		2 3 , 5 0 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 6 2 2 , 9 0 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 2 , 1 8 1	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、生姜、キャベツ、オクラ、ブロッコリー、施設花卉
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 9 , 0 4 5	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、生姜、キャベツ、オクラ、ブロッコリー
	維持管理費節減効果	3 , 8 9 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 1 , 4 0 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		8 8 , 7 4 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	供合
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 6 8 , 5 5 0 千円	
年 効 用		2 2 , 6 8 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 8 6 , 4 9 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 , 0 5 1	用水施設の改修による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：とまと、ピーマン、メロン、白菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 , 8 5 2	用水施設の改修による水管理時間の軽減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	7 7	用水施設等の改修による施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	5 , 3 4 2	農道舗装の整備により、走行速度、車種転換等による走行経費の節減 対象作物：水稲、とまと、ピーマン、メロン、白菜
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 1 , 2 4 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	1 1 6	安全施設の整備による安全性の向上 対象施設：道路
計		2 2 , 6 8 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	大開二期
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 0 5 5 , 9 0 0 千円	
年 効 用		2 1 3 , 7 3 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 7 3 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 9 2 3 , 9 2 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 2	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	9 7 , 8 8 5	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、いちご、とまと、飼料
営農経費の節減	7 5 , 2 4 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、いちご、とまと
	6 , 2 3 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農民生産の維持	3 4 , 3 8 0	老朽化した施設の更新による従前の農民生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計	2 1 3 , 7 3 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	布田
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 6 0 , 1 5 0 千円	
年 効 用		2 3 , 0 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 4 7 , 1 7 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 2 7 7	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、さといも、飼料、にんじん
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 4 , 8 3 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、さといも、かんしょ、飼料、にんじん
	維持管理費節減効果	1 9 3	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 , 2 6 2	農道舗装の改良により、走行速度、車種転換等による走行経費の節減 対象作物：水稲、さといも、かんしょ、飼料、にんじん
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 , 2 8 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	文 化 財 発 見 効 果	1 , 2 2 4	発掘調査により文化的価値が明確になる
計		2 3 , 0 7 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	大分県	地区名	太 田
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 5 6 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 1 , 4 7 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 8 3 , 9 1 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 3 , 2 0 7	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、春菊、きゅうり、アスター、スイートコーン
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 5 , 4 9 5	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、きゅうり、大豆、スイートコーン
	維持管理費節減効果	1 , 1 2 0	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 , 2 3 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	地 積 確 定 効 果	4 2 0	区画が整形化され、地籍が明確になる
計		3 1 , 4 7 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	大分県	地区名	下坂田
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 9 3 , 1 7 0 千円	
年 効 用		4 3 , 9 5 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 4 3 , 7 0 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 7 , 4 7 2	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、きゅうり、ピーマン、イチゴ、ミニトマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 3 , 6 6 5	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、きゅうり、ピーマン、大豆、スイートコーン
	維持管理費節減効果	7 6 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 , 3 8 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	8 9	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
	地積確定効果	5 8 2	区画が整形化され、地籍が明確になる
計		4 3 , 9 5 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	大分県	地区名	岡 本
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 5 6 , 8 0 0 千円	
年 効 用		4 7 , 0 8 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 8 3 , 3 9 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 7 , 6 1 0	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、ピーマン、春菊、きゅうり、レタス
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 6 , 6 9 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、きゅうり、ピーマン、レタス
	維持管理費節減効果	4 4 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 , 5 0 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	9 0	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
	地積確定効果	6 4 0	区画が整形化され、地籍が明確になる
計		4 7 , 0 8 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	大分県	地区名	古 後
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 4 2 , 3 0 0 千円	
年 効 用		4 3 , 2 8 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 9 2 , 7 8 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8 , 4 1 6	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、ピ－マン、なす、きゅうり、大根
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 7 , 6 0 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、ピ－マン、なす、きゅうり、大根
	維持管理費節減効果	2 , 7 0 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	4 , 0 6 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	地 積 確 定 効 果	4 9 9	区画が整形化され、地籍が明確になる
計		4 3 , 2 8 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	中内堅
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 4 1 , 6 0 0 千円	
年 効 用		4 3 , 3 6 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 9 4 , 2 3 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 3	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2 , 9 0 6	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、里芋、とうもろこし、イタリアン
営農経費の節減	2 6 , 9 6 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、里芋、とうもろこし、イタリアン
	1 , 2 9 3	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	1 1 , 4 1 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	4 7	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
	7 3 4	発掘調査により文化的価値が明確になる
計	4 3 , 3 6 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	金峰
-----	-------------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,610,300千円	
年 効 用		186,836千円	
廃 用 損 失 額		356,875千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,716,086千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果 38,225	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、麦、大豆、かんしょ、たばこ、かぼちゃ、レタス
	品質向上効果 3,177	農道の舗装により、生産物輸送の際の損傷軽減による品質向上 対象作物：かんしょ、レタス、ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果 17,228	ほ場の乾田化、パイプライン化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果 11,821	用排水施設等の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果 1,622	農道舗装の改良による走行速度等の走行経費の節減 対象作物：水稲、麦、大豆、かんしょ、たばこ、かぼちゃ、レタス
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果 99,655	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果 5,402	農道舗装の改良による走行速度等の一般交通の走行経費の節減
	公共施設保全効果 9,706	町道へのパイプライン埋設に伴う町道施設更新による従前機能の維持
計	186,836	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	西牟田雪山
-----	-------------	-------	------	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 4 0 4 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 4 6 , 7 6 0 千円	
廃 用 損 失 額		6 0 , 3 0 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 5 5 5 , 7 3 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 1 , 3 5 0	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、きゅうり、タバコ、飼料
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 0 3 , 4 4 0	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、きゅうり、タバコ、飼料
	維持管理費節減効果	2 , 3 2 0	用排水改良等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 9 , 6 5 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		1 4 6 , 7 6 0	